アップグレードの障害に関する FAQ

- アップグレードの障害に関する FAQ （1 ページ）

アップグレードの障害に関する FAQ

アップグレード バンドルのダウンロード時に GUI タイムアウトが発生します。

リポジトリからノードにアップグレードバンドルをダウンロードする場合、ダウンロードが完了するまでに 35 分以上かかるとダウンロードがタイムアウトします。この問題は、インターネットの帯域幅が不十分なために発生します。リポジトリとのインターネット接続が良好であることを確認します。

次のアップグレード エラー メッセージが表示された場合の対処方法を教えてください：`error: % Warning: The node has been reverted back to its pre-upgrade state`

[アップグレード（Upgrade）] ウィンドウで、[詳細（Details）] リンクをクリックします。[アップグレードの失敗の詳細（Upgrade Failure Details）] ウィンドウに記載されている問題を解決します。すべての問題を解決した後、[アップグレード（Upgrade）] をクリックして、アップグレードを再起動します。

次のノード アップグレード ステータス メッセージが表示された場合の対処方法を教えてください：`Upgrade cannot begin…`

このメッセージは、アップグレードがブロック状態にあることを示しています。この問題は、展開のすべてのノードのバージョンが同じでないときに発生する可能性があります。アップグレードプロセスを開始する前に、展開のすべてのノードのバージョン（該当する場合はパッチ バージョンを含む）が同じであることを確認します。

次のエラー メッセージが表示された場合の対処方法を教えてください：`No Secondary Administration Node in the Deployment`

このエラーは次の場合に発生します。

- 展開内にセカンダリ管理ノードが存在しない。
- セカンダリ管理ノードがダウンしている。
- セカンダリ管理ノードはアップグレードされ、アップグレード済みの展開に移行されている。通常、セカンダリ管理ノードをアップグレードした後に、展開の詳細の [更新（Details）] オプションを使用したときに、この問題が発生する可能性があります。

この問題を解決するには、該当する次のいずれかのタスクを実行します。

- 展開にセカンダリ管理ノードがない場合は、セカンダリ管理ノードを設定して、アップグレードを再試行します。
- セカンダリ管理ノードがダウンしている場合は、そのノードを起動し、アップグレードを再試行します。
- セカンダリ管理ノードがアップグレードされ、アップグレード済みの展開に移行されている場合は、CLI を使用して展開内の他のノードを手動でアップグレードします。

`Upgrade timed out after minutes: x` というメッセージが表示されます。

このエラー メッセージが表示された場合は、Cisco ISE ノードの CLI にログインし、アップグレードのステータスを確認します。通常、このエラーメッセージは、アップグレードプロセスに問題が発生したことを示します。ただし、これは誤ったアラームである可能性もあります。

この問題が事実の場合は、該当する次のいずれかのタスクを実行します。

- アップグレードに成功し、このエラーメッセージが表示されるノードが古い展開からのセカンダリ管理ノードである場合は、残りのノードを CLI からアップグレードできます。
- 管理者用ポータルの [アップグレード（Upgrade）] ウィンドウからセカンダリ管理ノードを削除した場合、GUI からアップグレードを続行できません。この場合、残りのノードについては CLI からアップグレードを続行することを推奨します。
- このエラーメッセージが表示されるノードが非セカンダリ管理ノードである場合は、管理者用ポータルの [アップグレード（Upgrade）] ウィンドウからそのノードを削除し、残りのノードのアップグレードを GUI から続行します。

古い展開内のプライマリ管理ノードで登録中にアップグレードが失敗した場合は、どうなりますか。

プライマリ管理ノード（アップグレードの必要がある古い展開からの最後のノード）で登録中にアップグレードが失敗した場合、アップグレードはロールバックされ、ノードはスタンドアロン ノードになります。

CLI から、スタンドアロン ノードとしてノードをアップグレードします。セカンダリ管理ノードとして新しい展開にノードを登録します。

ISE ノードのアップグレードに特定の順序はありますか。

はい。次の順序でアップグレードを実行することをお勧めします。

1. セカンダリ管理ノード

（注） この時点では、プライマリ管理ノードは以前のバージョンのままで、アップグレードに失敗した場合はロールバックに使用できます。

2. プライマリ モニタリング ノード

3. ポリシー サービス ノード

（注） ポリシー サービス ノードのセットをアップグレードした後、アップグレードが成功したかどうかを確認し（「アップグレードプロセスの確認」を参照）、新しい展開が期待どおりに機能していることを確認するネットワークテストを実行します。アップグレードが成功した場合は、ポリシー サービス ノードの次のセットをアップグレードできます。

4. セカンダリ モニタリング ノード
5. プライマリ管理ノード

まれに、以前のバージョンの ISO イメージを使用して Cisco ISE アプライアンスのイメージを再作成し、バックアップ ファイルからデータを復元する必要がある場合があります。データを復元した後は、古い展開を登録して、古い展開で行ったようにペルソナを有効にすることができます。したがって、アップグレードのプロセスを開始する前に、Cisco ISE の設定およびモニタリング データをバックアップすることをお勧めします。

設定およびモニタリングデータベースの問題により発生したアップグレードの障害は、自動的にロールバックされないことがあります。これが発生すると、データベースがロールバックされないことを示す通知を、アップグレードの失敗メッセージと共に受け取ります。このような場合では、手動でシステムのイメージを再作成し、Cisco ISE をインストールして、設定およびモニタリング データを復元（モニタリング ペルソナが有効な場合）する必要があります。

アップグレード ログはどのように確認しますか。

show logging application コマンドを使用すると、CLI から次のアップグレード ログを表示できます。

- DB データのアップグレード ログ
- DB スキーマ ログ
- Post OS アップグレード ログ

ADE-OS またはアプリケーション バイナリ アップグレードが失敗するとどうなりますか。

Cisco Application Deployment Engine（ADE）オペレーティング システム（ADE-OS）またはアプリケーション バイナリ アップグレードが失敗した場合、再起動後に CLI から **show application status ise** コマンドを実行すると、アップグレード失敗メッセージが表示されます。

設定と運用のバックアップを再イメージ化し、復元する必要があります。

アップグレードのキャンセル、コンソールセッションの切断、電源障害など、その他のタイプのすべての障害の場合、元のノードで有効にしていたペルソナに応じて、設定と運用のバックアップ イメージを再作成し、復元する必要があります。

アップグレードに失敗したらイメージを再作成する必要がありますか。

モニタリングデータベースのアップグレード（スキーマとデータ）エラーの場合は、設定と運用のバックアップを再イメージ化して復元する必要があります。再イメージ化する前に、失敗の原因を分析するために、**backup-logs** コマンドを実行し、リモート リポジトリ内にサポート バンドルを格納することによって、サポート バンドルを生成します。

ノードペルソナに基づいて、旧バージョンまたは新バージョンに再イメージ化する必要があります。

- セカンダリ管理ノード：旧バージョンに再イメージ化し、設定と運用バックアップを復元します。
- モニタリング ノード：ノードが既存の展開から登録解除されている場合は、新バージョンに再イメージ化し、新しい展開に再登録して、モニタリングペルソナを有効にします。
- その他のすべてのノード：その他のノードにアップグレード障害が発生した場合は、通常、システムは最後の既知の正常な状態に戻ります。システムが旧バージョンにロールバックしない場合は、新バージョンに再イメージ化して、新しい展開に登録し、旧展開と同様のペルソナを有効にすることができます。

アップグレードがバイナリのインストール中に失敗した場合はどうなりますか。

アプリケーションバイナリのアップグレードはデータベースのアップグレード後に発生します。バイナリのアップグレードで障害が発生すると、コンソールと ADE.log に次のメッセージが表示されます。

```
% システムでアプリケーションのインストール/アップグレードが失敗しました。破損したインストールを削除します（% Application install/upgrade failed with system removing the corrupted install）
```

ロールバックまたは回復を行う前に、**backup-logs** コマンドを使用してサポート バンドルを生成し、リモート リポジトリにサポート バンドルを配置します。

ロール バックするには、以前のバージョンの ISO イメージを使用して Cisco ISE アプライアンスのイメージを再作成し、バックアップ ファイルからデータを復元します。アップグレードを再試行するには、毎回新しいアップグレード バンドルが必要です。